

湖誠会

近藤 眞弘



令和4年度の子育て支援

問 子育てしやすい環境づくりに多くの自治体が競い合う中、本市もさなる子育て支援に取り組もうとしているが、青少年部門と幼児・児童福祉部門を担う部署を包括する子ども未来局の新規設置による効果は

答 子どもや家庭の抱える課題が多様化・複雑化する一方で、社会生活を営む上で困難を抱える青少年が増加していることから体制を強化した。子ども未来局の設置により、成長に合わせた途切れることのない円滑な支援が可能になるとともに、関係所属・機関との連携も強化され、課題の解決に向けた取り組みを一体的に推進できると考えている。



今後の市政運営の方針

問 コロナ禍の終息が見通せない中、高齢化の進展に伴う民生費の増加、公共施設の老朽化など行政課題は山積している。厳しい状況が続くが、今後の市政運営の方針と決意は

答 感染症対策に万全を期すとともに、2年目となる市総合計画第2期実行計画をさらに前進させ、変化の激しい時代の要請に応えるべく、将来を見据え、今やるべきことにしっかり取り組むという決意をもって、「夢があふれるまち大津」の実現に向け、全力を傾注する。

子どもへの 新型コロナウイルス接種

問 新型コロナウイルスの第6波では学校・園で急激に感染拡大したことからも、確実に子どもへの接種を進めなければならぬ。大人と異なる留意事項があると考えるが、進め方は

答 本人と保護者が相談の上で決めることが重要のため、チラシやホームページの小児専用ページで接種に関する国の情報などを届ける。また、安心して接種できるように小児科を中心に個別接種で対応していく。

大津市議会公明党議員団

濱奥 修利



子どもが抱える課題への対応

問 行き場のない青少年たちの居場所づくり、児童虐待などの早期発見や未然防止に向けた取り組み強化、新型コロナウイルス急拡大による不安・ストレスへの対策や不登校などへの本市の対応や対策は

答 子ども・若者総合相談窓口では、相談者に寄り添った適切な助言を行うなどの支援に努めており、子ども家庭相談室では専門職の配置による体制強化を図り、さらに児童相談所など関係機関と連携した体制を構築している。令和4年度は支援が必要なお子どもの居場所づくり事業の実施箇所の拡充を予定しており、今後も課題に対し適切に対応していく。



学校夢づくりプロジェクト

問 令和3年度は子どもたちの思いや発想を基に、学校や地域が力を合わせて創意工夫を凝らした本事業が展開されたが、令和4年度も引き続き拡充して実施するに当たっての令和3年度の事業評価と、今後、学校や児童生徒へ期待することは

答 コロナ禍でも子どもたちが前向きに取り組める事業になったと評価しており、子どもたちの自由な発想を生かしながら夢や将来の目標を持って学べるよう事業を進めていく。

G7サミット日本開催に伴う 本市への環境大臣の会合誘致

問 令和5年にG7サミットと関係閣僚会合の日本開催が予定されており、本市は県などと共に環境に関連する閣僚会合の誘致を目指している。誘致に向けた今後の取り組みは

答 誘致表明会見以降、国に対し2回要望を行ったほか、庁内にプロジェクトを設置し、情報共有している。誘致により市民の環境に対する意識のさらなる醸成につながると期待しており、引き続き、県や関係団体と連携し、実現を目指していく。

その他の質問 令和4年度予算
道路網整備と道路の維持管理
庁舎整備 市民病院の医療体制

※G7サミット フランス、アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7カ国の首脳とEUの首脳が参加する国際会議